

令和3年度 兵庫県立明石清水高等学校 学校関係者評価シート

学校教育方針	<p>1 教育方針 校訓「克己・努力・協同」の精神を基調に、夢や志を抱き未来を切り拓く生徒の「生きる力」を育み、明るく元気で、こころ豊かで自立した生徒の育成を図る。</p> <p>2 教育目標 (1) 「青春の夢に忠実であれ」をスローガンに掲げ、高い自己有用感を持ち、自らを社会に生かすことができる生徒を育成する。 (2) 文武両道を実践し、生涯にわたってたくましく夢や志の実現に努力することができる生徒を育成する。 (3) 未来を考え、いのちを大切に、こころ豊かな生徒を育成する。</p>	重点目標	<p>(1) 基本的な生活習慣を身につけ、規範意識や倫理観を養い、社会に信頼される人材を育成する。 (2) 基礎・基本を重視し、主体的・創造的に実践・活動する力を育み、自ら学び続ける意欲を醸成する。 (3) 体験的な活動を重視し、特色ある教育活動を展開するなかで、自他の生命の尊重と人権を大切にし、豊かな人間性や社会性を育む。 (4) 家庭・地域及び関係機関と連携・協力を深め、地域社会に根ざし、信頼される、魅力ある学校づくりを推進する。</p>
--------	---	------	---

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	自己評価	学校関係者評価
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	学校のホームページや学年通信などを通じて学校の情報を家庭や地域に情報発信し、学校への理解を推進する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや学年通信を通じた家庭への情報発信は充実していると感じるが、保護者の意見を反映させる機会をつくるなど、インタラクティブな情報交換が実現するとなお良いように思う。 ・コロナ前の文化祭の時の記憶ではあるが、学校関係者以外の方の入場者チェックが厳格すぎて、閉ざされた印象が残っている。セキュリティ上のこともあると思うがもう少しオープンになってほしいように感じた。 ・ホームページは、学校の情報をわかりやすく発信していただいていると思います。シンプルで見やすいです。 ・コロナ禍でも生徒の気持ちを大切に、可能な限りの行事を実施していただいていることが素晴らしいと思いました。 ・実施にはリスクがあったことと思いますが、先生方のご尽力により、清水は大学進学や就職のための通過点ではなく、高校生活を楽しめる学校であることが伝わりました。中学生や地域の方々にも広く伝わることを願っています。 ・遠隔授業もスタンダードになりご苦労も多いことと存じますが、学びの選択が増えることはいいことだと思います。
		学校施設や教育資源の地域への開放	オープン・ハイスクール(秋)、学校説明会、公開授業を実施し、開かれた学校づくりを推進する。	B	
	生徒指導	基本的生活習慣の確立	挨拶を励行し、時間や校則を遵守させる。交通安全教育を行い、登下校マナーを指導する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の悲しい事件が発生して以来、教職員の方々が一丸となって意識改革に真摯に取り組まれ、生徒向けを含めた心のケアに関する多岐にわたるプログラムの実施は充実したものであったと高く評価できる。このような実践的な活動を通じて、生徒の啓蒙並びに教職員の皆様の多様な生徒に対する対応力が一段と向上したと感じる。 ・些末なことではあるが、登下校マナーの指導は厳格すぎるように思う。マナーを守ることが生徒にとってどういう意味で必要なことか、より上位の目的を意識して、もっと生徒の自主性を引き出せる指導が必要だと感じる。・登下校中に出会う生徒さんは、こちらからの挨拶にはきちんと応えてくれます。 ・住宅街の車の通行の少ない場所では、のどかに並走されていても気になりませんが、通行量の多い場所では気を付けて欲しいと思います。出会う生徒さんたちは服装や頭髮の乱れも感じません。 ・時代の流れで、自分たちの子ども時代とは大きな変化があると感じています。ご指導においても、以前当たり前であったことが、当たり前でなくなっていることも多いと思います。学校に伺う機会も減り、実践状況を直に判断することはできませんが、今後も意識改革・資質向上を図っていただけることを願っています。 ・以前、お尋ねしたヤングケアラーについてはいかがでしたか？一人で悩んだり、あきらめたりする生徒さんがいないようにご配慮いただけたらと思います。また、LGTBQ に配慮した制服のお取り組みについてもお知らせいただければ幸いです。
		心のサポートシステム	生徒の内面理解や指導方法に関する研修会を実施し、教員の意識改革・資質向上を図る。	B	
			自殺予防につながる教育プログラムを開発し、実践する。	B	
	進路指導	進路指導体制の充実	3年間を見据えた計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施し、進路状況・結果について、進路指導部と各学年が連携し、分析・対策を検討する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導では、進学と就職ともに生徒の適性に合わせた指導が徹底されていると感じる。 ・進学指導においては、生徒の学力や特性に応じた志願先の選定がなされ、多様な選抜方法を最大限に活用して、入試結果に結び付けていると思う。 ・新型コロナウイルス対策においても、十分な対策が講じられイベントの開催の是非についても慎重で適切な判断が下されていた。 ・進学状況は改善してきたと感じています。これも3年間を見据えられた計画の成果の表れだと思います。今後も多くの生徒さんが、夢や希望をもって進めますよう期待しております。 ・電車内で出会う高校生がウレタンマスクの場合、敬遠しがちです。病院などでは、不織布マスクを指定しているところもあります。自転車通学時やスポーツの場合はマスクでは呼吸ににくいかもしれませんが、可能であれば不織布マスクの着用をお願いしたいです。
		進路に対応した学力養成	早朝補習・放課後補習・長期休業中補習、小テスト等を実施し、必要な学力の向上を目指す。	B	
保健指導	新型コロナウイルス感染予防対策	教室の換気や手洗い、マスクの着用を指導し、校内の消毒を行うなど、新型コロナウイルス感染症対策を行う。	B		
教育課程	基礎・基本の定着	基礎・基本の定着	学習習慣を身につけさせ、基礎基本の定着を図る。朝の SHR 前の学習活動「朝学」、ポートフォリオノート、学習用システム手帳の利用など、習慣づけ、振り返りによって個に応じたペースでの取り組みを図る。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を喚起させ基本的な学習習慣を身につけるためには、アクティブラーニングが必要であり、そのために何が必要かを今一度原点に立ち返って考える必要がある。ポートフォリオやシステム手帳は、そのためのツールでしかない。また、理解できたという達成感など楽しく面白いと感じる学習でない振り返る気持ちにならないと思う。 ・細やかなご指導の積み重ねが、進路の改善に繋がっていると思います。 ・習熟度別授業や少人数指導などの取り組みは、生徒の学習理解を促進するうえで重要な教育手法だと思う。生徒の学習意欲を高める評価方法も貴重な取り組みで、今後の更なる推進に期待したい。 ・個に応じた学習指導の徹底で、学校の勉強だけで進学できる、という評価に繋がると素晴らしいと思います。 ・教育現場では避けられないのかも知れないが、多くの規則や規制があり統制的な印象を拭えない。自由と責任のバランスを考えた忍耐強い指導が求められ、生徒は試行錯誤を繰り返しながら自己効力感が生まれて成長に繋がると思われる。生徒が高い次元で成長できるよう、より上位の目的意識をもった実践的な指導が必要だと感じる。 ・ホームページのところでも述べさせていただきましたが、高校生活を楽しむ清水高校の良さを今後も継続していただきたいです。 ・部活動は非常に活発で生徒の自主性が重んじられ、試合結果にもその成果として表れている。 ・強制ではなく、奨励がよいと思っています。活性化のためにも、部活動できる環境を整えられるといいと思います。 ・地域社会の教育資源を活用した先進的な教育が実践されている。なお、当該コースで得た知見を一般コースの生徒の教育にも活用する課題が残されている。 ・地域に積極的に関わってくださることはありがたいことだと思います。全市的な行事にも積極的に参加していただくことも期待しています。
	個に応じた学習指導の徹底	指導形態・評価方法の創意工夫	習熟度別授業や少人数指導などを実施し、個に応じた指導を行い、評価方法についても工夫する。	B	
	特別活動	自主的・実践的な活動の活性化	学校行事などで、生徒の主体的な活動が行われている。	B	
課題教育	学校の個性化	文化・スポーツ活動の推進	部活動の加入を奨励し、部活動を活性化させる。	B	
		人と環境類型の推進	成果発表会、まちづくり協議会及びその活動への参加、類型説明会など、積極的に取り組む。	A	

	人権教育の推進	異文化体験セミナーの開催、多文化共生理解のLHRなど、SDGsに基づく国際感覚や人権感覚が身につくよう指導する。	B	<ul style="list-style-type: none"> •SDGs に関しては国連が推奨し多くの企業や団体でそれを目指した取り組みが行われているが、多様性を受容する観点からは、この理念に反する文化や慣習は否定されることになる。教育現場ではこの是非についても議論すべきだと思う。 •明石市では全国初の手話言語コミュニケーション条例を制定しているので、選択で手話や要約筆記の体験も取り入れていただけると嬉しいです。
	ICT教育の推進	ICT機器を効果的に活用した授業づくりに積極的に取り組む。	A	<ul style="list-style-type: none"> •一昨年度のコロナ下で自宅待機となった時期にオンライン対応が急務だったが、ICTを活用した十分な施策が講じられなかった印象が残っている。今年度の授業でのICT活用については確認できないのでコメントを控えたい。 •ICT 機器を効果的に活用された成果を地域の高齢者のワクチン接種予約協力などに活かされると、みなさん喜ばれると思います。